

2024年度「心理演習」シラバス

科目コード	未定	授 業 概 要
学習センター	放送大学本部	
学習センター コード	12Z	
クラスコード	—	
科目名	心理演習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	クワバラ トモコ 桑原 知子（放送大学特任教授） ハタノ シゲユキ 波田野 茂幸（放送大学准教授） キタハラ トモノリ 北原 知典（放送大学准教授） イトウ マサル 伊藤 匡（放送大学准教授）	
日程 実施時間	【第1回～第4回】 2024年4月20日（土）10:00～17:00 【第5回～第8回】 2024年4月21日（日）9:00～16:00 【第9回～第12回】 2025年1月10日（金）10:00～17:30 【第13回～第16回】 2025年1月11日（土）9:00～16:00	
実施会場	この授業は、【放送大学本部（※不測の事態発生時はWeb（Zoom）授業で開講。）】で行います。	
<p><b>【授業内容】</b> 心理援助職として必要とされる心理面接や心理検査の実際および対人コミュニケーションの取り方に関する基本的な知識や技能を習得する。また、多職種連携および地域連携の意義やその方法および現状を理解する。合わせて、臨床現場で要支援者と関わる際に意識的に遵守しなくてはならない職業倫理や法的義務および社会人として求められる社会マナーについて、説明および実践ができるよう理解を深める。</p> <p><b>【授業の目的】</b> 心理援助職として臨床現場に臨む際に必要とされる心理学的な知識および基本的な社会ルールを身につけ、見学実習に繋げると共に、実践的な体験を通じた理解を深める。</p> <p><b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理的な支援を行う際の心構え 第2回 心理的な支援におけるコミュニケーション 第3回 コミュニケーションの取り方について 第4回 守秘義務・職業倫理と法的な義務についての基礎知識 第5回 心理職業における連携の意味と重要性 第6回 多職種連携の実際 第7回 施設見学における倫理的な注意点 第8回 振り返りとまとめ 第9回 心理的な支援と心理面接・心理検査 第10回 心理的な支援における面接技法とは 第11回 心理的な支援と日常の支援の違い 第12回 地域支援と地域連携 第13回 心理的な支援におけるニーズの把握 第14回 心理的な支援における専門性とは 第15回 心理的な支援における専門性を身につけるために大切に思うこと 第16回 振り返りとまとめ</p> <p><b>【履修上の注意点】</b> 「心理演習」と「心理実習」は「一体の科目」として取り扱い、2024年度第2学期の終わりに同時に単位認定を行う。どちらか1科目のみの履修およびどちらか1科目のみの単位習得は認められない。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b> 「初回に予定されている「心理演習／実習」事前ガイダンス」にて説明する予定なので必ず出席をすること。 それまでは、シラバスの内容から判断して自己学習に努めること。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b> 出席状況、面接授業で課した試験、レポート等の成績、学習状況等を総合的に判断して成績評価を行う。</p>		

## 各回のテーマと授業内容

### 第1回 心理的な支援を行う際の心構え

心理援助職の支援は心理学な裏付けを持った対人援助である。その意味では円滑な対人コミュニケーションを持てることが基本的な能力として求められる。「心理的な支援」に至る最初の入口としての対人コミュニケーションのあり方を再確認しながら、心理的な支援を行う際の心構えについて考察する。また今後の講義の進め方についてのオリエンテーションも行う。

【キーワード】心理的な支援、対人コミュニケーション

担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）

### 第2回 心理的な支援におけるコミュニケーション

主に「公認心理師の職責」における学習との連携を図りながら、電話やメール等による受付対応や来談された要支援者の迎え方と見送り方、自己紹介の仕方、相談契約、枠組みの説明の仕方、相手からの同意の求め方など、心理検査や心理面接以前のコミュニケーションの取り方がどのように具体化されるのかについてロールプレイングで学ぶ。

【キーワード】心理的な支援、対人コミュニケーション

担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）

### 第3回 コミュニケーションの取り方について

第1回・第2回の講義内容を踏まえ、それらを実際の対人コミュニケーションの中でどのように活用するのかをロールプレイングなどの体験学習を通じて学ぶ。また実際の心理的な支援場面ではどのようなことが想定されるのかについても考察する。

【キーワード】心理的な支援、対人コミュニケーション

担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）

### 第4回 守秘義務・職業倫理と法的な義務についての基礎知識

公認心理師法第40条の信用失墜行為の禁止、第41条の秘密保持義務、第42条第1項の連携等、第42条第2項の医師の指示などへの具体的な対応について概説する。また、法的義務と職業倫理、組織倫理や職場の慣行などの多様な倫理間の矛盾に遭遇する場面を想定し、そうした倫理的ジレンマ場面についてロールプレイングを通じて体験学習する。

【キーワード】守秘義務、職業倫理

担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）

### 第5回 心理職業における連携の意味と重要性

「公認心理師の職責」における多職種連携及び地域連携の学習などの「コミュニティ心理学」の学習と連携しながら、関係する地域の保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の各機関の多職種の役割や地域にある様々な支援資源について理解を深める。

【キーワード】心理面接、心理検査、心理職の専門性、多職種協働、地域連携

担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）

### 第6回 多職種連携の実際

心理支援を行う際には当該のチームや組織の職種の理解が必要である。しかし、保健医療機関、学校、児童相談所など領域や分野の違いによって、チームの中で求められる役割が異なることが考えられる。また、これに伴い、多職種で行う事例検討の形態も様々である。各分野で想定される架空の事例検討を通して、様々な職種がどのようなことを考え業務にあたっているのかについて検討し、また心理援助職が要支援者の現実生活にどのような意義を持っているか等を体験的に学ぶ。

【キーワード】多職種協働、地域連携

担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）

### 第7回 施設見学における倫理的な注意点

これまで学んだことを、今後実施される「心理実習」の中でどのような形で生かしていくかについて考察する。また、「心理実習」のオリエンテーションや注意すべき点についても説明する。

【キーワード】多職種協働、地域連携、守秘義務、職業倫理

担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）

### 第8回 振り返りとまとめ

第1回～第7回の講義及びロールプレイングを通じて学んだことについて、グループシェアリングを行う。

【キーワード】心理的な支援、心理面接、心理検査、心理職の専門性、多職種協働、地域連携

担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）

### 第9回 心理的な支援と心理面接・心理検査

「心理学的支援法」における学習との連携を図りながら、代表的な心理療法ならびにカウンセリングについて、可能な限り体験学習による理解を深める。また、「心理的アセスメント」における学習との連携を図りながら、「心理実習」場面において出会った心理検査等について、模擬事例によるロールプレイングにより、その実施法と解釈の仕方、対象者への結果説明ならびに報告書の書き方等について学ぶ。

【キーワード】心理面接、心理検査、心理職の専門性

担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）

### 第10回 心理的な支援における面接技法とは

これまでは「心理面接」と「心理検査」を別個のものとして学んだが、実際にはこの両者は分かち難く、相補的に機能していることが多い。両者の異同を、広義での「面接技法」として別の角度から検討し理解する。

【キーワード】心理面接、心理検査、心理職の専門性

担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）

<p>第11回 心理的な支援と日常の支援の違い</p> <p>心理的な支援はこれまで学んできた「対人コミュニケーション」「心理面接」「心理検査」の総合体である。つまり、日常的な対人コミュニケーションを基礎としながらも、心理援助職としての専門性が必要となる。各自の日常的な体験を題材としながら、何が心理的な支援におけるコミュニケーションと異なるのか、その異同について考察する。</p> <p>【キーワード】心理面接、心理検査、心理職の専門性</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>
<p>第12回 地域支援及び地域連携</p> <p>心理援助職は、地域支援においてチームとしての協働や地域における他機関との連携を求められる。その重要性と実際について理解を深める。また、地域資源の活用や当事者活動のエンパワメント、アウトリーチ、コンサルテーションといった支援方法が、見学実習を通して学んだこととどのように関係するのかを検討する。</p> <p>【キーワード】地域支援、要支援者のニーズ、現場および地域に対する心理的なニーズの見立て、心理職の専門性</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>
<p>第13回 心理的な支援におけるニーズの把握</p> <p>要支援者のニーズの把握について、模擬事例を設定して身体的側面、心理的側面、社会的側面から理解する体験学習を行う。その中でも、要支援者のニーズの把握について、要支援者の価値観や文化的な背景、発達段階に応じた支援計画を作成し、どのような支援方法が適切であるかについて検討する。</p> <p>【キーワード】心理的な支援、心理職の専門性、連携</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>
<p>第14回 心理的な支援における専門性とは</p> <p>これまでの授業を受け、「心理的な支援とは何か」「その専門性とは何か」について考察する。</p> <p>【キーワード】心理職の多様性、その他の分野の心理職、被災地支援</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>
<p>第15回 心理的な支援における専門性を身につけるために大切に思うこと</p> <p>これまでの授業を受け、「心理的な支援とは何か」「その専門性とは何か」について全体討議を行う。</p> <p>【キーワード】心理的な支援、心理職の専門性、連携</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>
<p>第16回 振り返りとまとめ</p> <p>第9回～第15回の講義及びロールプレイングを通じて学んだことについて、グループシェアリング・全体討議を行う。</p> <p>【キーワード】心理的な支援、心理面接、心理検査、心理職の専門性、多職種協働、地域連携</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>

2024年度「心理実習」シラバス

科目コード	未定	<p><b>【授業内容】</b>                  心理的な支援を実施している施設にて心理実践を行う際に必要とされる基本的な心理学的知識、技能および社会的なマナーについて、現場での実習や講演等を通して具体的に理解を深める。また、現場で必要とされる多職種連携および地域支援等の「チーム」としての協働について、必要な知識および技能を深めるとともに、その現状を知る。以上の学びを通して、心理援助職に求められる専門性について真摯に考え、答えを探究していくための基本的な姿勢を培う。</p> <p><b>【授業の目的】</b>                  実際に心理支援を行っている施設の見学実習および施設に勤務する心理士の講演等を通して、心理学に関する専門的な知識及び技能の実践的な理解を深める。</p> <p><b>【授業テーマ】</b>                  「心理実習」事前ガイダンス</p> <p>第1回 「心理実習」開始ガイダンス（病院見学実習の事前指導を含む）                  第2回 保健医療分野における心理職の業務と実際について①（講義・事前指導）                  第3回 保健医療分野における心理職の業務と実際について②（見学実習・事後指導）                  第4回 保健医療分野における心理職の業務と実際について③（講義・振り返り）                  第5回 司法・犯罪分野における心理職の業務と実際について①（事前指導）                  第6回 司法・犯罪分野における心理職の業務と実際について②（見学実習・事後指導・振り返り）                  第7回 教育分野における心理職の業務と実際について①（現場講師による講演・講義）                  第8回 「心理実習」中間指導                  第9回 教育分野における心理職の業務と実際について②（講義・振り返り）                  第10回 産業・労働分野における心理職の業務と実際について（現場講師による講演・講義）                  第11回 福祉分野における心理職の業務と実際について①（事前指導・見学実習・事後指導）                  第12回 福祉分野における心理職の業務と実際について②（現場講師による講演・講義）                  第13回 福祉分野における心理職の業務と実際について③（振り返り）                  第14回 現地見学実習（6か所から1か所選択）（見学実習・事後指導）                  第15回 心理職の多様性と広がり（現場講師による講演・講義）                  第16回 「心理実習」の総評および評価</p> <p><b>【履修上の注意点】</b>                  「心理演習」と「心理実習」は「一体の科目」として取り扱い、2024年度第2学期の終わりに同時に単位認定を行う。どちらか1科目のみの履修およびどちらか1科目のみの単位習得は認められない。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b>                  初回の「事前ガイダンス」にて説明する予定なので必ず出席をすること。それまでは、シラバスの内容から判断して自己学習に努めること。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b>                  出席状況、レポート等の成績、学習状況等を総合的に判断して成績評価を行う。</p>
学習センター	放送大学本部	
学習センターコード	12Z	
クラスコード	—	
科目名	心理実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	クワバラ トモコ 桑原 知子（放送大学特任教授） ハタノ シゲユキ 波田野 茂幸（放送大学准教授） キタハラ トモノリ 北原 知典（放送大学准教授） イトウ マサル 伊藤 匡（放送大学准教授）	
日程 実施時間 (予定)	<p><b>【ガイダンス・第1回】</b>                  2024年5月11日(土)10:00～18:00</p> <p><b>【第2回～第4回】</b>                  2024年6月25日(火)～27日(木) または                  6月27日(木)～29日(土) または                  7月4日(木)～6日(土)                  ※この期間に3日間の授業を3クール（1クールにつき学生10名）実施                  〔1日目〕 15:45～21:30                  〔2日目〕 9:00～21:45                  〔3日目〕 9:00～14:45</p> <p><b>【第5回～第6回】</b>                  2024年8月21日(水)または                  8月28日(水)（予備日：8月14日(水)）                  10:00～19:30</p> <p><b>【第7回～第9回(中間指導を含む)】</b>                  2024年9月13日(金)～14日(土)                  〔1日目〕 10:00～21:30                  〔2日目〕 9:00～18:45</p> <p><b>【第10回】</b>                  2024年10月5日(土) 10:00～18:30</p> <p><b>【第11回～第13回】</b>                  2024年11月第2週～3週の内、日曜祝日を                  除く連続する2日間                  〔1日目〕 9:00～21:45                  〔2日目〕 9:00～18:45</p> <p><b>【第14回】</b>                  2024年9月下旬～12月上旬                  13:00～19:30</p> <p><b>【第15回～第16回】</b>                  2024年11月30日(土) 10:00～19:15</p>	
実施会場	この授業は、【放送大学本部及び実習見 学先(※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で開講。)】で行います。	

## 各回のテーマと授業内容

<p>「心理実習」事前ガイダンス</p> <p>授業を開始するにあたり、授業の進め方、実習ノートなど課題への取り組み方について説明するとともに、見学実習を通して学ぶべき事柄や意味、心理職に求められる心構えについて学ぶ。</p> <p>【キーワード】授業の進め方 記録の取扱い 見学実習を行う意味 心理職の心構え</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>
<p>第1回 「心理実習」開始ガイダンス</p> <p>見学実習を実施するに際し、必要となる知識、姿勢および気を付けなければならない守秘義務などの倫理や義務について体験的に学習する。</p> <p>【キーワード】心理職の責務 職業倫理 守秘義務 法的義務 現場で必要とされる臨場的な感覚</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>
<p>第2回 保健医療分野における心理職の業務と実際について①（講義・事前指導）</p> <p>病院での見学実習を通して、また、保健医療分野施設での見学実習を実施するにあたり、保健医療分野における心理職の業務について学ぶ。また、実際に見学実習を行う施設の概要および地域の役割等について、具体的に学ぶ。（病院見学実習の事前指導）</p> <p>【キーワード】医療の心理職の業務 精神科医療 精神保健 デイケア</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>
<p>第3回 保健医療分野における心理職の業務と実際について②（見学実習・事後指導）</p> <p>病院での見学実習を通して、病院の地域性について学ぶとともに、多職種連携および地域連携の実際についても理解を深める。</p> <p>【キーワード】医療の心理職の業務 病院と地域の関係性 多職種連携 地域連携</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>
<p>第4回 保健医療分野における心理職の業務と実際について③（講義・振り返り）</p> <p>第2回～第3回の授業において学習した内容を踏まえて、保健医療分野の心理職の概要についてについて学ぶとともに、グループ・ディスカッションおよびシェアリングを通して、理解を深める。</p> <p>【キーワード】医療の心理職の業務 心理職の専門性 チームアプローチ 精神病理</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>
<p>第5回 司法・犯罪分野における心理職の業務と実際について①（事前指導）</p> <p>司法・犯罪分野の心理職の概要および業務の実際について、具体的に学ぶ。</p> <p>【キーワード】司法・犯罪分野の心理職の業務 司法臨床 非行臨床</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>
<p>第6回 司法・犯罪分野における心理職の業務と実際について②（見学実習・事後指導・振り返り）</p> <p>司法・犯罪分野に関する施設のうち、少年鑑別所での見学実習を通して、司法・犯罪分野における心理職の業務および非行臨床の実際について体験的に学ぶ。</p> <p>【キーワード】司法・犯罪分野の心理職の業務 心理職の専門性 非行臨床 少年鑑別所</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>
<p>第7回 教育分野における心理職の業務と実際について①（現場講師による講演・講義）</p> <p>教育分野における心理職の業務について、その概要と特徴について学ぶ。また、グループ・ディスカッションおよびシェアリングを通して、教育分野における心理職の特徴と必要となる専門的な姿勢について理解を深める。</p> <p>【キーワード】教育分野の心理職の業務 教育相談 スクールカウンセラー チームアプローチ</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>
<p>第8回 「心理実習」中間指導</p> <p>第1回～第7回までの授業において学習した内容についての感想および意見を共有するとともに、学生自らが本授業の目的を自分のテーマとしてとらえなおすきっかけを与えることで、主体的な学びを促す。</p> <p>【キーワード】心理職の責務 心理的な実践感覚 主体的な関与</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>
<p>第9回 教育分野における心理職の業務と実際について②（講義・振り返り）</p> <p>教育分野における心理職の業務における「多職種連携」および「地域連携」について、多角的に学習する。また、第8回で行われた「中間指導」をふまえ、心理職にとって重要な視点である「科学者としての視点」および「実践家としての視点」について学び、専門的な姿勢について理解を深める。</p> <p>【キーワード】教育分野の心理職の業務 多職種連携 地域連携 心理職の専門性</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>
<p>第10回 産業・労働分野における心理職の業務と実際について（現場講師による講演・講義）</p> <p>産業・労働分野における心理職の業務について、その概要と特徴について、現場の心理職の講演を通して学ぶ。また、心理職の現場で出会う多様な「主訴」について、その捉え方や考え方について理解を深める。</p> <p>【キーワード】産業・労働分野の心理職の業務 産業保健 EAP 主訴の捉え方</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>

<p>第11回 福祉分野における心理職の業務と実際について①（事前指導・見学実習・事後指導）</p> <p>福祉分野に関連する施設のうち、児童心理治療施設での見学実習を通して、福祉分野における心理職の業務および児童虐待の現状について体験的に学ぶ。</p> <p>【キーワード】福祉分野の心理職の業務 児童心理治療施設 児童虐待</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>
<p>第12回 福祉分野における心理職の業務と実際について②（現場講師による講演・講義）</p> <p>福祉分野における心理職の業務について、その概要と特徴について学ぶ。また、社会的に大きな問題となっている児童虐待をはじめとした現代の家庭が抱える問題について、実際の面接、チームアプローチ、地域連携などの観点から理解を深める。</p> <p>【キーワード】福祉分野の心理職の業務 児童虐待 家庭が抱える問題 チームアプローチ 多職種連携 地域連携</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>
<p>第13回 福祉分野における心理職の業務と実際について③（振り返り）</p> <p>第11回～第12回の授業において学習した内容について、グループ・ディスカッションおよびシェアリングを通して、福祉分野における心理職の業務や専門性について理解を深める。</p> <p>【キーワード】福祉分野の心理職の業務 心理職の専門性</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>
<p>第14回 現地見学実習（6か所から1か所選択）</p> <p>第1回～第13回までの授業にて学んだことを踏まえ、本学で設定した保健医療分野・教育分野・福祉分野・産業・労働分野の現地見学実習先から1か所選択して見学を行うとともに、これまで見学を実施してきた各施設における心理支援、多職種連携、地域支援の特色と分野ごとの違いについて体験的に学ぶ。</p> <p>【キーワード】病院における心理職の実際 教育相談における心理職の実際 子ども家庭支援センターにおける心理職の実際 多職種連携 地域連携</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>
<p>第15回 心理職の多様性と広がり（講演・講義）</p> <p>第14回の現地見学実習において体験した主要5分野の心理職の現場の実際について、ディスカッション及びシェアリングを通して学び、心理職の現場の専門性と多様性について理解を深める。</p> <p>【キーワード】心理職の多様性 心理職の専門性 地域連携 多職種連携</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>
<p>第16回 「心理実習」の総評および評価</p> <p>第1回～第15回までの授業を受け、本授業の目的であった「心理学的な支援の実践的な理解」について振り返るとともに、担当教員から「総評」という形でフィードバックを学生に対して行う。また、学生自身も自分自身の取り組みについて「自己評価」を行い、「心理職の専門性」について、考察を深める。</p> <p>【キーワード】心理職の専門性 「心理実習」の意義 自己評価</p> <p>担当講師名：桑原知子（放送大学特任教授）、波田野茂幸・北原知典・伊藤匡（放送大学准教授）</p>